

第3回

## 米国ベンチャー企業の最新動向 投資家の関心分野が示唆するビジネス機会

ドットコム企業の混在したバブル期崩壊とともに、技術系ベンチャー企業に対する投資熱も急速に沈静化した。それから約5年。熱狂の時を経験した企業、投資家にとっては、ようやく尋常に感じられる時期が到来した。

### バブル期前の水準に戻った VC投資

『Money Tree Survey』(PricewaterhouseCoopers、Thompson Venture Economics、National Venture Capital Association(NVCA)が共同で実施した調査報告書)によると、過去2年間における四半期単位の投資額は46億ドル~61億ドルとされ、バブル期前の水準に回復した。2005年第2四半期で見ると、米国国内では合計750社の企業に対し58億ドルのベンチャーキャピタル投資(以下VC投資)が行われている。特に、昨年に引き続きレイターステージへの投資は増加傾向にあり、2005年第2四半期では24億ドル(過去4年間で最高)同前半においては投資額全体の41%に相当する。この数字は、2004年の平均投資額34%を大きく上回り、過去10年間でも最高水準に達している。また、スタートアップやアーリーステージ期の企業に対する投資活動も盛んだ。2005年前半では、これら初期段階にある473社の企業に対し、総額21億ドルが投入された。これは2004年の結果と類似しており、総投資額の20%に当たる。また、2005年第2四半期におけるVC投資動向を地域別で見ると、依然としてシリコンバレー(32%)が活発だが、ニューヨーク、ニューイングランド、テキサス州(オースティン地区)など技術系大学の充実した地域がこれに続いている。

### 「RSS」「オープンソース」「検索」「セキュリティ」が関心分野

1. RSS(Real Simple Syndication): RSSで記述したブログをフィードに取り込んで、ユーザーのデスクトップへ直接配信できるという簡便性から、ブログ人気と並行して注目されている。同技術に最も恩恵を受けるのは出版広告業界だが、一般企業でも効率的な情報交換手段として適用価値があり、業界では、今後ウェブコンテンツ用のプラットフォームとして、HTMLの代替となる可能性も聞かれる。RSS技術に関しては、RSSプラットフォーム向けのセキュリティー、検索技術、コンテンツ処理、配信技術等の分野を含め、すでに1億ドルの投資計画が進められている。MobiusやDraper Fisher Jurvetsonなど有数の投資機関が同技術に関心を寄せている。

2. オープンソース: 従来、サーバーや低水準のインフラ、ミドルウェア技術に特化した新興企業が一般的だったが、近年、米国では開発用ソフトや企業ユーザー向けアプリケーションなどの各種プログラムに取り組むベンチャーが多く誕生している。規模を問わずLinuxを必要とする企業が増加傾向にあるほか、スマートフォンでの成功も著しい。先に述べたDraper Fisher Jurvetsonをはじめ、Kleiner Perkins、Worldview、New Enterprise Associates、Sequoia Capi-

Thomas Spargo  
[トーマス・スパーゴ]



米IBM社でのITコンサルタントを経て、Kanabo Consulting Inc(www.kanaboconsulting.com)を設立。代表取締役社長。日米企業を対象にIT・技術系市場の調査、コンサルティングを専門とする。米コーネル大学よりIndustrial and Labor Relations分野で学士号、UCLAではハイテクマーケティング専攻でMBAを取得。  
✉tspargo@kanaboconsulting.com

tal、Mayfieldなど大手のVC投資機関が介在する分野である。これらの投資意欲は、Red Hat社に続く新規株式公開への期待感と同時に、迅速な事業展開(オープンソースの活用により、開発から製品出荷までの時間が短い)によって、投資先の売上状況や導入顧客からの反応がいち早く実感できる点にある。

3. 検索エンジン: 49社の検索エンジン企業が総額4億ドルのベンチャー投資を受けた2000年。この時をピークに投資案件は減少傾向をたどってきたが、Yahoo!社の買収事例(検索ツールSnapの開発企業Overture社を18億ドルで買収)に続き、2004年にはGoogle社がIPOを大きな成功に導いた事実が、投資家の関心を再び引いた。ブロードバンドおよび無線接続技術の発展により、多様な機器を通じたオンライン利用率も増加しているが、やはり「完璧な」回答を出せる検索ツールの開発はそう容易なことではない。したがって、この分野で完全性を追究した技術が誕生すれば、かなり大きなビジネス機会が期待される。

4. セキュリティー: 巨大企業における財務管理の杜撰さが次々と明るみに出て、米国国内ではSarbanes Oxley法(企業改革法)やHIPAA法(医療情報保護法)、GLB法(金融機関における個人情報保護法)など情報取り扱いに関する規制強化とともに遵守義務も強化された。特に企業では、内部者によるネットワー

ク攻撃や不正侵入、データ詐取などのセキュリティ問題が深刻化しており、対応技術の開発活動はここ2～3年の間非常に活発である。この現状に伴い、今年から来年にかけては、全米企業におけるIT支出のうちセキュリティ分野への投資額が最高値に達するとの見方もある。

### 審査の目はより厳しくなり 収益性が問われる時代

バブルの波とともに多くのベンチャー企業が淘汰されたことは、結果として社会、経済、技術産業にポジティブな環境をもたらした。「本当に必要な技術」を質にこだわって開発するだけでなく、収益性の立証できるビジネスモデルを熟考した企業だけが生存し、再起し、あるいは白紙の状態から立ち上がったからである。また、投資家にしても、バブルの痛手を受けて以来、慎重を期して投資案件に目を通すようになったはずである。冒頭で述べたように、2005年における技術系企業への投資額は昨年に続き増加している。この事実から、近年投資を受けた企業は、特にこれらの厳しい目で審査された技術であり、かつ企業経営者として真の将来性が期待される。

\*実際には、ライフサイエンス分野が総投資額の25%と最も高いが、バイオテクノロジーと医療機器産業を統合した数値であるため、単独としてはソフトウェア産業がトップになる。

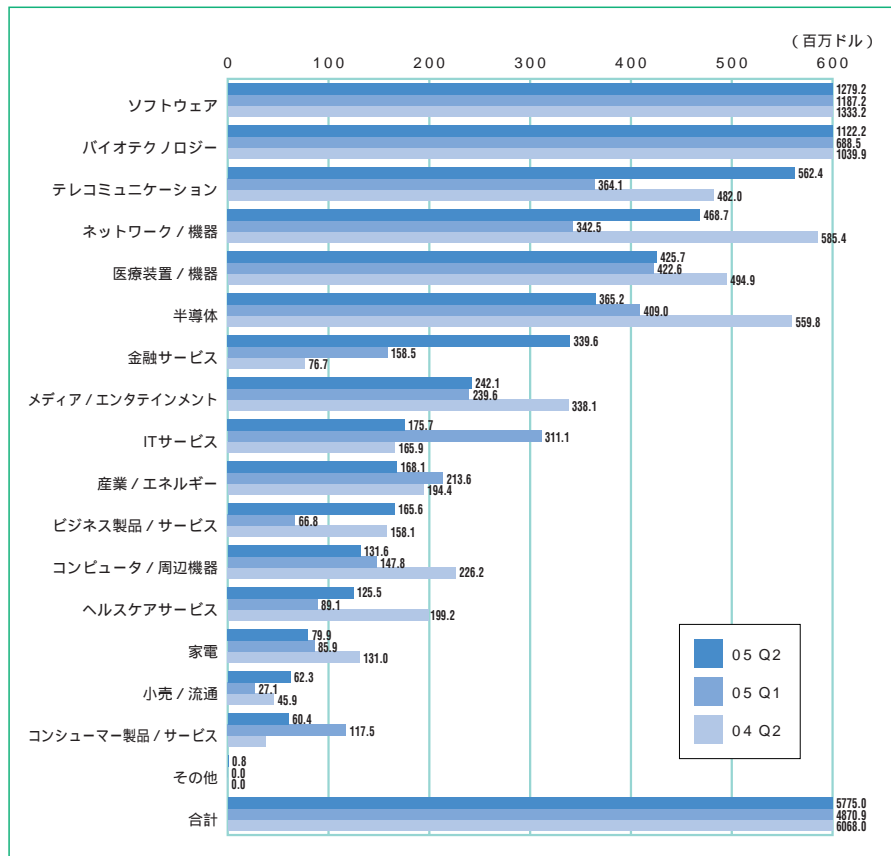
#### [ お知らせ ]

< 9月末日発売予定 >

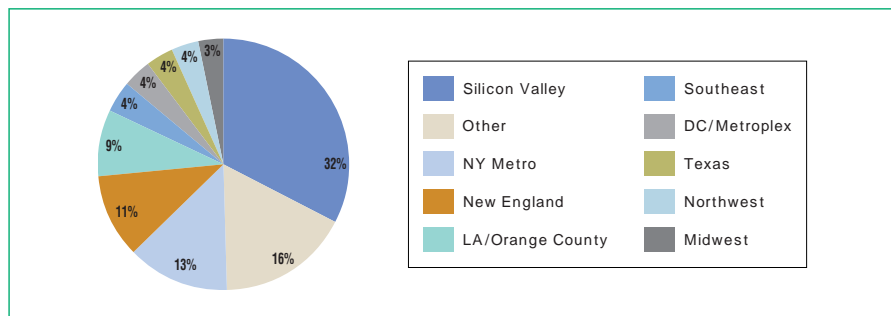
#### 「米国ネット企業100社調査報告書 2005」(予価: 98,000円)

このコラムの筆者である米国KAN-ABO Consulting社のThomas Spargo氏がまとめた、いま注目すべき米国のネット企業100社の企業情報と技術の調査報告書。

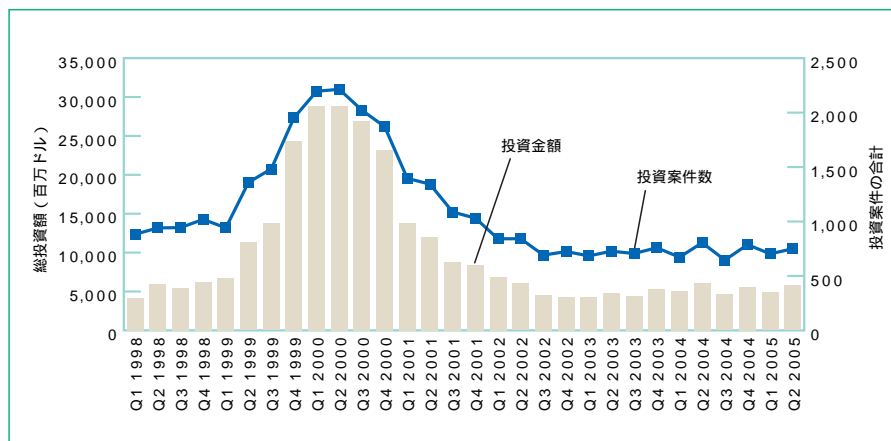
<http://internet.impress.co.jp/iil/>



産業別に見た近年のVC投資額



2005年第2四半期における地域別VC投資活動の割合(ドル単位)



米国におけるVC投資活動の変遷



## [インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

**株式会社インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

[im-info@impress.co.jp](mailto:im-info@impress.co.jp)